

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 12 月 10 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 23 誰もが住みよいまちづくりの推進				
部章節No.	第3部 第1章 第2節	評価担当部	民生部	関連部局	建設部
総合計画書掲載頁	106 頁	記載責任者	平本明敏		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	健康でゆとりとふれあいのまちづくり			
	施策の分類【章】	総合的な保健福祉環境の創造			
施策の目的 (基本方針)	高齢者や障害者などが安全で快適に生活できる居住環境の整備を促進するとともに、都市機能の整備や改善につとめ、誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりを進めます。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	高齢者や障害者等が、住み慣れた地域や家庭で生涯安心して快適に暮らしていくためには、バリアフリー住宅やシルバーリフォームの普及・促進を図るとともに、適切な情報提供や情報提供や相談支援が重要となっています。 また、高齢者や障害者等、誰もがみな外出しやすい環境づくりのため、外出支援ボランティアの養成や移送サービスの充実を図ることが求められています。
法令・制度 の変更	・第6期愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定中（平成27～29年度） ・愛川町障害者計画策定中（平成27～32年度） ・愛川町障害福祉計画（サービス等プラン）策定中（平成27～29年度）
施策の課題	・高齢者や障害者等、誰もが外出しやすい環境づくりのため、外出ボランティアの養成や移送サービスの充実が必要とされる。また、障害の有無にかかわらず、誰もが住みやすいまちづくりのためには、道路、公園や公共施設、商店街などのバリアフリー化を推進することが課題となっている。 ・高齢者向け優良貸付住宅やシルバーハウジングなどの整備促進について県や関係部局と連携をはかり、情報を町民に提供する必要がある。 ・外出支援策の一つである、かなちゃん手形の発行については、神奈川中央交通圏では年間4期の取り扱いを行っている。町での助成対象となる手形は、6月券と9月券の2期分の取り扱いのみなので、外出機会の更なる拡大や高齢者の利便を考えると通年助成についての検討も必要と思われる。

3 施策の成果指標（基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。）

住民満足度	指標（単位）	総合計画策定時		中間値（26年度）		目標値28年度		達成度
	『誰もが住みよいまちづくりの推進』について「満足」と感じる住民の割合	27.2 %		35.1 %		37.0 %		A
主 な 目標指標	指標（単位）	増減	総合計画策定時	23年度	24年度	25年度	目標値28年度	達成度
								—
								—
								—

4 施策の活動指標（「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。）

主 な 活動指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	要介護・要支援認定者の自宅改修件数	増	86	72	84	71	85	A
	かなちゃん手形購入件数	増	1,901	1,997	2,078	2,001	2,100	A
	グループホーム（認知症対応型共同生活介護）利用人数	増	228	260	431	425	450	A

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	住みよい住環境の整備	B			
2	福祉のまちづくりの推進	B			

6 総合評価

成果指標評価	A	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	B
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価

A
(自動判定)

➡ 良好と認められる施策です。

総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点から踏まえて分析してください。）

- ・高齢者や障害者など、地域での自立生活を支えるため、住宅改修の相談に応じるとともに住宅改修に伴う補助金等を支給し、住宅環境を整備している。また、高齢者や障害者等が外出しやすいよう、外出支援ボランティアの育成や移送サービスを町社会福祉協議会へ委託し、外出支援の充実を図っている。
- ・高齢者や障害者などの相談においては、窓口にて丁寧に対応しており、施設等の整備促進にも努めている。引き続き、高齢者や障害者世帯の住宅設備改良等の相談体制の充実・シルバーハウジングなどの整備促進・グループホームやケアホームなどの整備促進に努める。

7 今後の方向性

方向性	☒ 現状維持 ☐ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☐ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	・今後、ますます高齢化が進み、一人暮らし高齢者等も増加する中で、住宅の確保など課題になるものと思われることから、民間賃貸住宅への円滑な入居を促進する。また、賃貸住宅の供給などを手掛ける公的機関等（（社）かながわ住まい・まちづくり協会）の発信する情報を提供するなどし、あんしん賃貸住宅の情報提供や不動産協力店の紹介等を行うなどして支援を図っていく。 ・今後、高齢者の住まい探しに関する不安の解消や円滑な住まい探しが気軽に相談できる窓口の設置も必要と考えるが、関係部署と連携を図りながら、また、近隣市町の情報収集に努めながら、研究する必要がある。 ・高齢者や障害者など、誰もが住みよい福祉のまちづくりを推進するため、今後も歩道の整備や道路の段差の解消などのハード面からの取り組みと外出しやすいソフト面の両面から取り組みを進めていく。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]